

令和7年度 学校運営協議会 第3回議事録

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和8年2月19日(木)10:30～	
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室	
出席者(委員)	早野委員 末綱委員 尾中委員 高早委員 財津委員	
出席者(学校)	校長 田口、教頭 長江・井端、首席 佐加・中野・那須、部主事 土肥・前田・坂井	
傍聴者	本校保護者1名	
協議資料	令和7年度 学校学校経営計画及び学校評価他	
備考		

議題等(次第順)
1. 学校長あいさつ 2. 令和7年度 学校教育自己診断結果への対応について 3. 令和7年度 学校経営計画 学校評価について 4. 令和8年度 学校経営計画について 5. その他(事務局から)

協議内容・承認事項等(意見の概要)
2. 令和7年度 学校教育自己診断結果への対応について 【幼稚部】 肯定的な回答が多い一方、数値が下がった項目もある。学習支援クラウドサービスや掲示による発信を強化し、働く保護者が増える中で、家庭との連携が継続できる環境づくりを進めている。保護者の考えをしっかりと聞きながら、子どもたちの実態に応じて、支援方法や教材の工夫を検討していきたい。 【小学部】 肯定的回答が多く、学校生活への満足度が高い表れであると受け止めている。数値や記述の結果を受け、大切にすべきことを学部で再確認した。意見が多く出た遊び時間の確保や学部を超えた交流の充実にも取り組んでいきたい。 【中学部】 学部の魅力を発信するため、中学部体験授業を春だけでなく秋にも実施し、児童会と生徒会の合同活動を通して児童が中学部に期待を持てるよう取り組む方針である。また、生徒の自立を見据え、信頼関係を基盤に一人ひとりに応じた指導を丁寧に行っていく。 【委員からの提言】 ・いつでも相談できる場所があり、この学校の環境に保護者として感謝している。 ・働く保護者が増えている現状などを踏まえ、柔軟な支援体制が取られているので、今後も継続してほしい。 ・これからの100年に向け、日々改善に取り組まれていることを感じる事ができた。 ・「学校へ行くのが楽しい」という質問に対して、小学部から中学部にわたって高い肯定率が維持できている。 ・本日それぞれの立場から頂いた意見を参考に、これからも自信を持って取り組んでほしい。 3. 令和7年度 学校経営計画 学校評価について 今年度の取組みは計画どおりに進められ、キャリア教育の充実、交流機会の確保、安全対策の強化、教職員研修が推進された。児童生徒・保護者の肯定的回答は増加した一方、教職員における管理職との対話機会は、今後もコミュニケーション方法を検討する。 4. 令和8年度 学校経営計画について 今年度の取組みを継続しつつ、100周年に関連する活動を軸にして、子どもと教職員が共に学びを深められるよう推進する。一人ひとりの子どもを中心として家庭と連携しながら教育活動を進める。 令和8年度の学校経営計画は、委員により承認された。 【委員からの提言】 ・地域校との交流が特別なことではなく自然なものとなるよう引き続き取り組んでほしい。 ・学校の教育内容や環境を外部へ積極的に発信することにも取り組んでほしい。 ・100周年を機に、子どもたちに聴覚教育の歴史を学ぶ機会を提供してほしい。 ・本日の協議会に参加し、教職員の日々の取組みが子どもたちの成長に還元されていくと感じた。 ・100年の節目に、広域の聴覚の子どもたちが学びをさらに深められるよう前進してほしい。 5. その他 次年度学校運営協議会予定 第1回7月2日(木) 第2回12月3日(木) 第3回2月18日(木) (時間はいずれも 10:30～12:00 を予定)

次回の会議日程	
日時	令和8年7月2日(木)10:30～12:00
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室